

公立館林厚生病院
脳神経外科の5つの特徴

1 専門医が救急・急性期治療
～リハビリまで

脳神経外科専門医が、専門性と緊急性の高い治療～リハビリまで一貫して提供しております

2 24時間365日の
専門医療体制

緊急性の高い疾患に対応するため、24時間専門医が待機し対応しております

3 急性期～回復期医療まで

治療後、早期にリハビリ専門スタッフによるリハビリを提供し、退院を支援しております

4 体に負担の少ない
低侵襲手術

精密な脳神経外科手術を支援する、ナビゲーションシステムを完備しております

5 複数の疾患に対する
総合的医療の提供

他科の医師と連携し、ひとつの病気だけでなく、包括的に医療を提供しております



公共交通機関をご利用の方
東武伊勢崎線「館林駅」下車、徒歩10分
お車でお越しの方
東北自動車道「館林IC」より20分

邑楽館林医療企業団
公立館林厚生病院

〒374-8533 群馬県館林市成島町262-1

TEL 0276-72-3140

<http://www.tatabayashikoseibyoin.jp/>

病院ホームページはこちら →



5 Tatabayashi Kosei General Hospital
SPECIALITIES 5つの領域

邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院



05

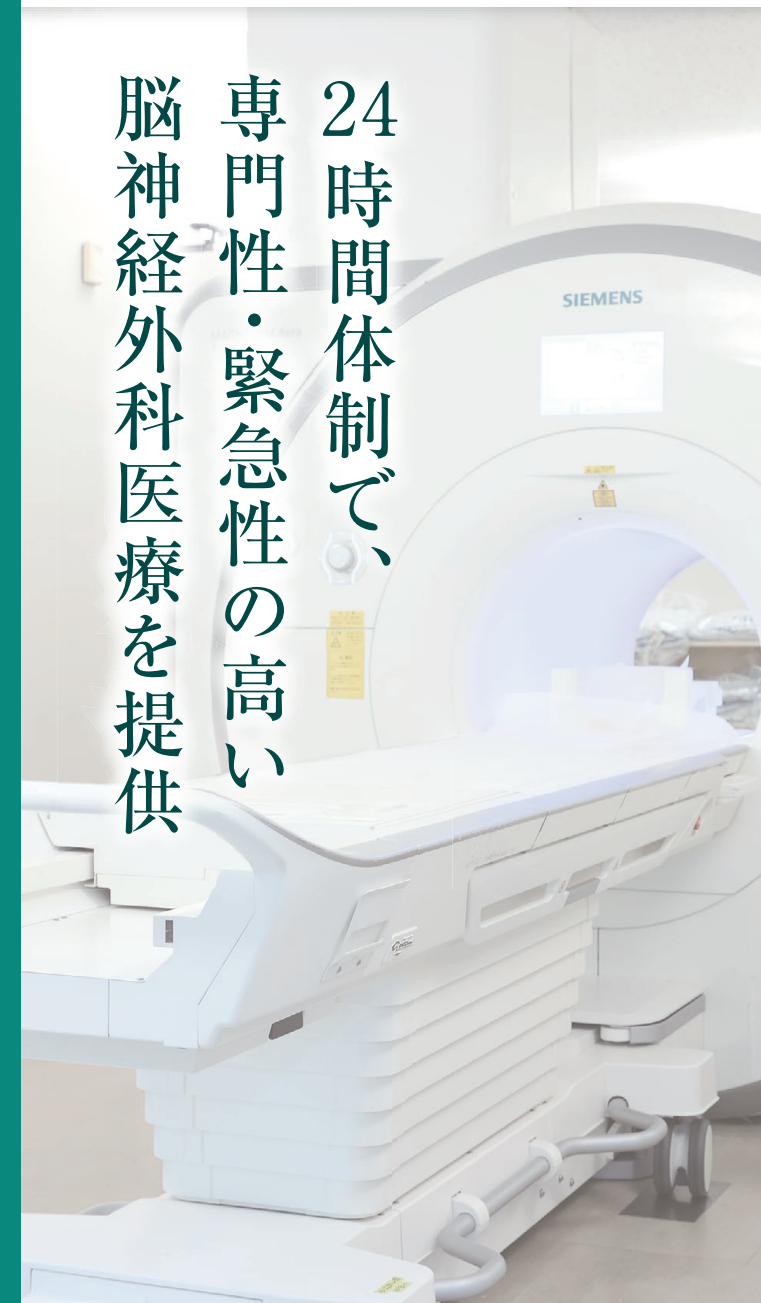
脳神経外科

脳・脊髄・神経を専門に
診断・治療しております

〈主な疾患〉

- 脳卒中 (脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)
- 頭部外傷
- 脳腫瘍

24時間体制で、
専門性・緊急性の高い
脳神経外科医療を提供



救急・急性期治療、 そして回復期リハビリテーションへ 社会復帰までの支援を一貫して行っております

役割

地域唯一の 総合病院として

脳神経外科では、脳卒中の他、頭部外傷、てんかん重積発作などの緊急性の高い疾患や、脳腫瘍といった疾患を中心に治療を行っています。高齢化により、複数の疾患を抱えている方が多数を占めています。そのため、臓器だけではなく、身体を総合的に診察、治療をすることが非常に重要となります。当院では29*の各診療科専門医が連携して治療にあたり、最善を尽くします。また、症状が落ち着いた患者さんは、かかりつけ医へバトンタッチし、日常生活の中で継続的な治療をサポートしていただきます。なお、病状が悪化した時には、いつでも受け入れる体制を整えております。*令和5年4月現在



救急医療



MRI



頭蓋内腫瘍摘出術



リハビリテーション

脳神経外科へ救急搬送される患者さんの最も多い疾患は脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）です。脳卒中は発症から治療までの時間が短いほど、治療の選択肢や回復の見込みも大きくなります。当院では脳神経外科専門医が常に待機し、患者さんの病態によって、手術（カテーテル治療と開頭手術）の他、内科治療を行います。また、脳腫瘍に関しては、ナビゲーションシステムを使用することで、低侵襲な手術を実現しています。治療後早期に取り組むリハビリテーションにも、脳神経外科専門医が関わり、リハビリスタッフが365日リハビリを提供し、看護師や医療ソーシャルワーカーと協働し、退院や社会復帰を支援しております。

専門性

専門医による検査・治療、 リハビリテーション

院長
脳神経外科部長
救急センター長
松本 正弘
Matsumoto Masahiro

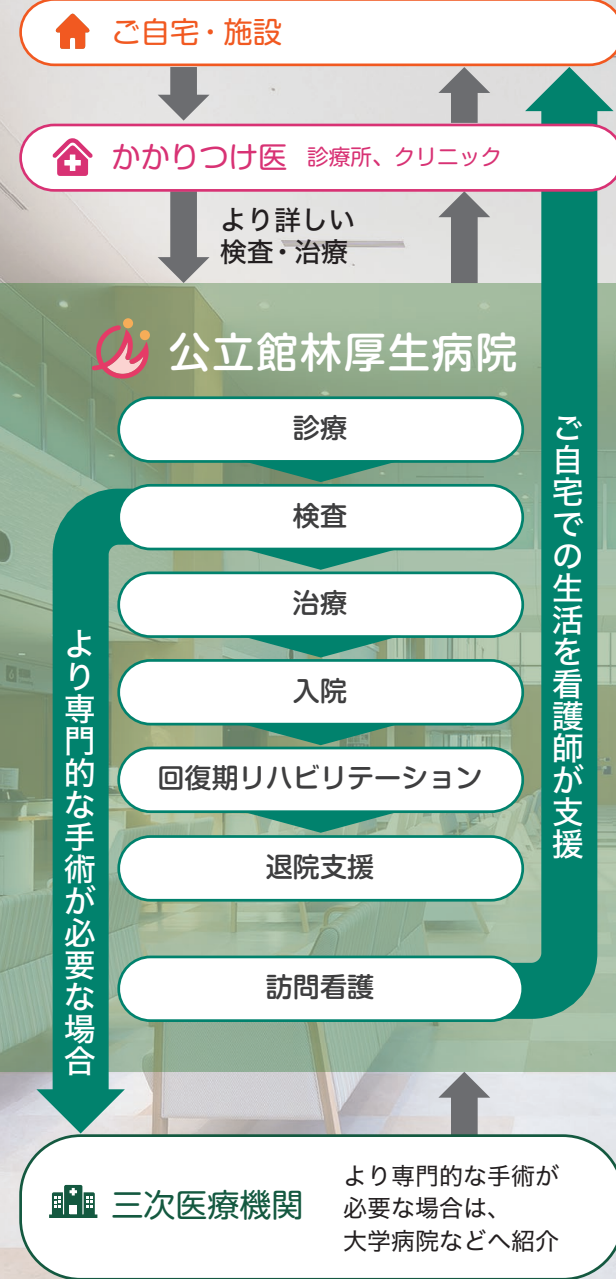
【主な所属学会・専門医等】

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会認定 血管内治療専門医
日本脳卒中学会認定 脳卒中専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会認定 技術認定指導医
医学博士（1998年・群馬大学）
臨床研修指導医
日本DMAT隊員

医師からのメッセージ

介護が必要となる疾患のうち、認知症について多いのが脳卒中です。高齢化により、脳卒中の患者さんが増加しています。また、核家族化のため、脳卒中となると、自宅での生活が困難になります。このため、地域の介護施設、行政の方々と連携し、支えることが重要です。当院は、脳卒中の急性期及び回復期医療を担う中心施設としての役割をしっかりと果たしてまいります。一方で、治療はあくまで手段であり、目的ではありません。患者さんやご家族の生活背景および人生観に応じ、一緒に考えていきたいと思っております。

受診の流れ



三次医療機関

より専門的な手術が必要な場合は、
大学病院などへ紹介